

2023年1月26日

障害福祉サービス事業者の皆様

枚方市障害福祉サービス事業者連絡会

会長 安田 雄太郎

2022年度 第4回 枚方市障害福祉サービス事業者連絡会の開催について

平素は、事業者連絡会の運営にご協力いただき、厚くお礼申し上げます。

さて、下記の要項で第4回連絡会を開催いたします。

今回は、「障害者権利条約の対日審査・総括所見と障害者が地域で生きる権利」をテーマに研修を行います。昨年8月、スイス・ジュネーブにおいて障害者権利条約の対日審査（国連障害者権利委員会と日本政府による建設的対話）が行われ、9月には総括所見等が公表されました。脱施設やインクルーシブ教育の遅れ、精神科病院における非人道性をはじめ、優生思想の問題についても指摘されています。

一方、北海道のグループホームで、結婚や同居を望むカップルに不妊処置が提案され、手術等が実施されていた問題が昨年末から報道されています。厚労省は先日、全国の自治体に「サービス利用の条件として不妊処置を求めることは、人格尊重の責務規定に違反する」として、違反が疑われるケースの報告を求めるなどの対応を始めています。

また、昨年には大阪高裁と東京高裁で、優生保護法のもとで強制された不妊手術に対する国家賠償を求める判決が出るなど、優生思想と優生政策を問い直す運動が取り組まれています。

講演では、優生保護法を巡る裁判への支援を取り組まれ、ジュネーブにも行かれた DPI 女性障害者ネットワーク代表の藤原久美子さんをお招きし、グループホームでの不妊処置問題や優生保護法の問題をはじめ、障害者が地域で生きる権利について、障害者権利条約の対日審査・総括所見を踏まえてお話いただきます。

貴重な機会ですので、ぜひご参加いただきますよう、よろしくお願いいたします。

記

1. 日 時 2023年2月20日（月） 午後2時から午後4時30分
2. 会 場 枚方市総合文化芸術センター別館（旧メセナひらかた会館）6階 大会議室
3. 案 件

- ・枚方市からの連絡他
- ・講演：障害者権利条約の対日審査・総括所見と障害者が地域で生きる権利
講師：藤原 久美子 氏（DPI 女性障害者ネットワーク代表、
自立生活センター神戸 Be すけっと ピアカウンセラー兼事務局長）

参加費：資料代1人300円

※出席の場合は、2月13日（月）までに参加票を FAX（裏面記載） で送信の上、

当日も参加票を受付に提出してください。

<裏面もご覧ください>

※全体会（研修）への参加は、会員事業者に限定しています。新たに入会を希望される事業者は、以下のアドレスにメールを送信してください。入会届をPDFで添付し、返信しますので、PDFファイルが受信できるメールアドレスを使用してください。

〇〇〇〇@△△△△

※特別警報等で会場が閉館になった場合は、延期します。その場合は、連絡会に登録いただいているメールアドレスにお知らせメールを送信します。枚方市役所に登録されているアドレスではなく、連絡会専用の名簿からメール送信しますので、入会届にアドレスを記載されていない事業者は、上記アドレスまでお知らせください。会員限定の情報も随時メール配信しています。

■連絡先（事務局） 枚方市大垣内町2丁目1-20
枚方市役所 福祉事務所 障害企画課 籠本
障害支援課 副島
電 話 072-841-1152（直通）
FAX 072-841-5123

◆講師プロフィール

藤原 久美子（ふじわら くみこ）氏

DPI 女性障害者ネットワーク代表、認定 NPO 法人 DPI（障害者インターナショナル）日本会議常任委員、自立生活センター神戸 Be すけっと ピアカウンセラー兼事務局長、優生保護法問題の全面解決をめざす全国連絡会 共同代表。10代の時にI型糖尿病を発症し、35歳で合併症による網膜症で視覚障害者（弱視）となる。自立生活センター神戸 Be すけっとにボランティアとして関わりピアカウンセリングを学び、2004年に同センターのスタッフとなる。40歳で妊娠し、障害があることで中絶を勧められた経験から、障害女性の複合差別解消に向け取り組んでいる。2016年に国連女性差別撤廃委員会へロビイングを行い、障害女性の現状と強制不妊手術問題の早期解決を訴える。2019年12月、日本の社会問題に取り組んでいる女性リーダーに贈られるチャンピオン・オブ・チェンジ日本大賞受賞。

新型コロナウイルス感染症対策について

- ・マスクを着用してください。
- ・入室前後に手指の消毒をしてください。
- ・発熱、せき、下痢などの症状がある方は、参加を控えてください。
- ・参加者同士が直接接触する行動は控えてください。
- ・概ね1時間ごとに部屋の換気を行います。